

お正月明けのデイサービス

〒244-0002横浜市塚区矢部町125

電話 045-410-7307 FAX 045-410-7308

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに 担当：三根

早いもので、新年を迎えてから1ヶ月が経とうとしています。お正月明けのデイサービスでは、午年をモチーフに皆さんと作ったちぎり絵を背景に記念写真を撮ったり、遊びに来てくれたご近所の3歳児のボクちゃんと風船バレーをしたりとゆったりとした時間を過ごされています。

3年前に植えた蟬梅が、昨年末からチラホラと咲き始め1月中旬には満開を迎えていました。蟬梅の良い香りにリラックスしながら、もうすぐ来る春の訪れを実感した次第でありました～



20周年記念式典～当日編～

令和7年11月23日、善了寺のデイサービス「還る家とともに」の二十周年記念式典を開催しました。天候にも恵まれ、ご本堂には80名近い方々がお集まりくださいました。デイサービスの利用者さんとそのご家族、色々な形で支えてくださるご門徒さんや地域の方々、日々の運営を担うスタッフが一堂に会し、これまでの歩みを振り返ったり、利用者さんのご長寿を祝ったりしました。15年の節目はコロナ禍であったため、皆さんをお招きする会を開くことができませんでした。その分までお祝いするように、大変多くの方にご参加いただき有難いことでした。

今回の式典を催すにあたり、大事にしたかったのは「デイサービスをご利用くださる皆さんにスポットライトが当たる」ということでした。スライドショーを用いたデイサービス20年の振り返りでは、デイサービスにおける春夏秋冬の日暮らし、お誕生日会の様子などを写真を使って紹介しながら、という想いで利用者の皆さんに関わらせて頂いているのかお話がさせていただきました。

【裏面へ続く】

20周年記念式典～つづき～

また、今回は利用者さんによるハンドベルの演奏も行いました。日頃からレクリエーションの一環で行っているハンドベルがこのような晴れ舞台でお披露目できて本当に嬉しかったです。ご家族にとっては初めてみるお父様やお母様の姿だったことでしょう。誇りしかったり、はらはらしたりしながら温かく見守って頂きありがとうございました。

また、ご長寿の96歳、97歳、98歳の方々を壇上にお呼びして表彰状をお渡ししました。デイサービスの日常の中で、80代の方は90代の方々から「若いねえ」と言われます。言われた方も「昭和2年生まれであんなに元気だなんてすごいねえ。私も頑張らなくちゃ。」となります。先を行く先輩方がいるからこそ、気持ちに張りが出ることもあるのだと思います。

他に職員による創作演劇「浦島太郎」も行いました。前号のニュースでもお伝えしましたが大道具作成の多くの部分においてご利用の皆様にもたくさんお手伝い頂きました。

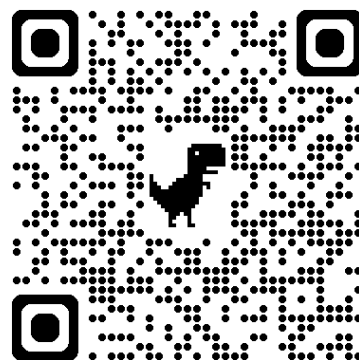


皆様の応援・ご支援のおかげでこうして20周年記念式典を無事に終えることが出来ました。デイサービスで出会った方々、また、これから出会う方々すべてに、ありがとうございます。20年の節目を新たなスタートとし、一日一日を大切に皆さんと過ごさせていただきます。これからもよろしく願いいたします。



←創作演劇浦島太郎の様子

当日の様子を一部公開しています [善了寺ともに講公式チャンネル](#)⇒



ボランティアさん募集

デイサービス還る家ともにでは、現在ボランティアさんを募集しています。

活動内容は、

- ご利用の方とのお話相手
- お散歩付き添い
- 食事作り
- レクリエーション
- 園芸作業

などです。

ご希望の方は、お気軽にミネまでお問い合わせください。宜しく願いいたします。

編集後記

昨年末に、能登震災で被災された能登の日本料理富成さんの所にボランティアに行かせて頂きました。彼は震災時、避難所の食べ物がパンとおにぎりのみだったので、もっと栄養のあるものを提供したいと、自分の家の片付けを後回しにして、避難所の炊き出しに専念された料理人です。

震災から2年が経ち、やっとお店を再開するに当たり、お節料理を提供するので、皿洗いのつもりで手伝いに行ったのですが、人参の花びら、大根の鶴、カボチャの亀、能登の郷土料理等、今までしたことのない創作料理もさせて頂き、お節を作る料理人が、こんなにも手を掛けて作られていたんだと感動することばかり。作り手の方に感謝して頂かなければと改めて思いました。そして、突然の自然災害から、2年経っても苦境に立たされ、必死でなんとか前を向こうとされておられる厳しい現実を知りました。私にできることは、忘れずに想いを寄せることだと改めて思いました。